

府民参加型公共事業委員会開催結果

1 日時 令和3年8月4日（水）13：30～15：20

2 場所 Web会議

3 委員

舞鶴工業高等専門学校教授	玉田 <small>たまだ</small>	和也 <small>かずや</small> （座長）
京都府立大学公共政策学部准教授	三宅 <small>みやけ</small>	裕樹 <small>ひろき</small>
京都府立大学大学院准教授	三好 <small>みよし</small>	岩生 <small>いわお</small>
NPO法人人と自然とまちづくりと理事長	横山 <small>よこやま</small>	葵 <small>あおい</small>
向日市建設部長	福岡 <small>ふくおか</small>	弘一朗 <small>こういちろう</small>
井手町理事兼総務課長	脇本 <small>わきもと</small>	和弘 <small>かずひろ</small>

傍聴者 なし

4 議事

府民協働型インフラ保全事業について（建設交通部・京都府警察本部）

- ① 事業制度について
- ② 令和2年度事業の概要について
交通安全施設の整備について
- ③ アンケート調査について
- ④ 制度運用について
- ⑤ 制度活用について

5 主な委員意見

- ・ 今後も、不採択となった提案について、提案者への丁寧なフォローを継続するとともに、過度な行政負担にならないよう、理解が進む効果的な方法なども研究してほしい。また、不採択となっても繰り返し提案される提案については、理解が進んでいない原因などを分析し、審査の過程で見落としが無いか、特に注意を払う必要がある。
- ・ 今までの情報を蓄積・分析し、ビッグデータなどの活用によって、住民の理解を得られるとともに府下のインフラ保全により効果を発揮できるようにさらなる事業の充実を目指してもらいたい。
- ・ 「安全」に加えて、「安心」を住民に提供するための方法の検討などを警察本部と建設交通部が協力して取り組んで欲しい。
- ・ この事業を通して、行政と住民が、信頼関係を築き、住民同士が、コミュニティー再生、活性化するような事業に育つことが望ましい。
- ・ 提案者へきめ細かな対応をしてもらっており、府民から感謝の声を聞いている。京都府としてもっと積極的にPRしてほしい。